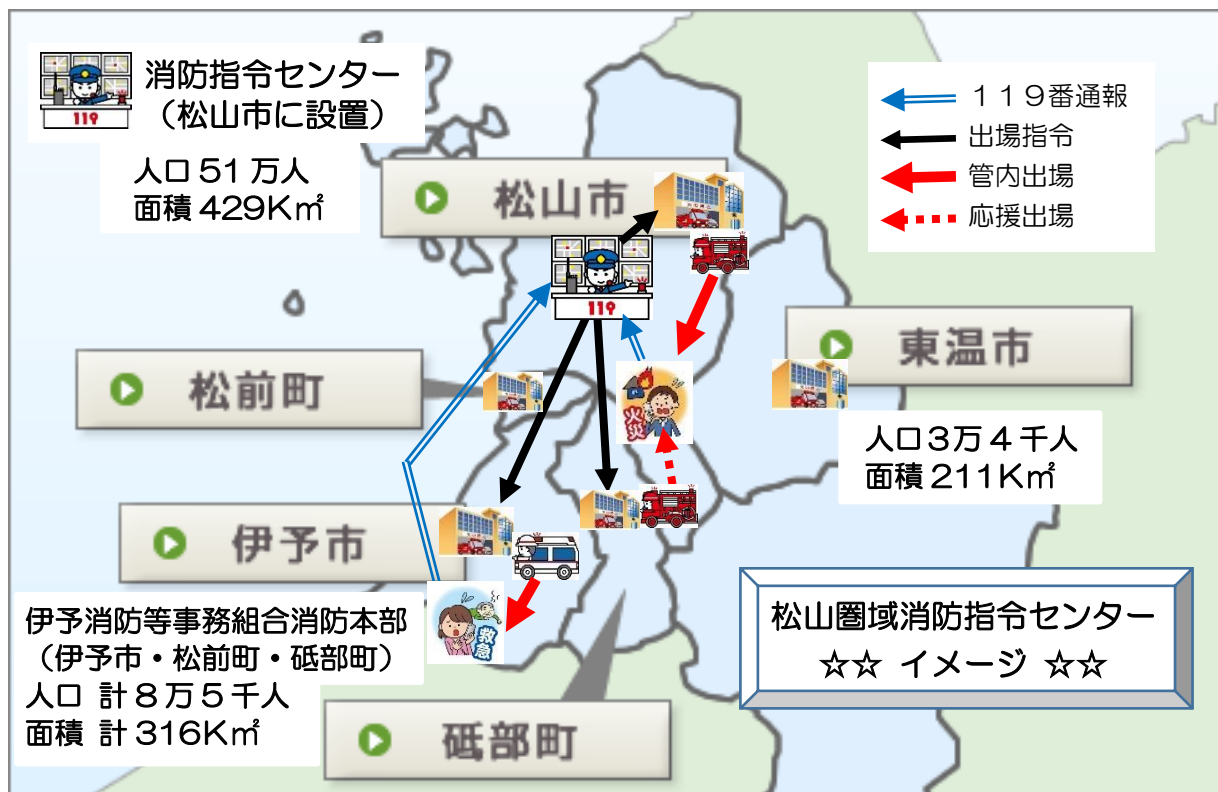


## 松山圏域消防指令センターの整備について【消防指令業務の共同運用】

### 【概要】

松山圏域の3消防本部\*で 119 番通報の受信と消防車や救急車の出場指令、無線統制等の消防指令業務の運用を共同で行う。スケールメリットにより業務が効率化され、各市町の経費が削減できるとともに、消防本部間の連携と情報の共有化が可能となり、隣接地域や大規模な災害時の相互応援体制の充実強化を目指す。

- ※①松山市消防局 ②伊予消防等事務組合消防本部（伊予市・伊予郡松前町・伊予郡砥部町）  
③東温市消防本部



### 【共同運用のメリット】

- 応援出動体制の強化**…各市町の隣接地域へ管轄を問わず迅速に応援出動  
☆消防車や救急車の現場到着時間が短縮
- 費用負担の軽減**…消防指令センターを共同整備するため、整備費用等を各市町で按分することによる負担減と、交付税措置が有利な地方債を活用することが可能 ☆財政負担軽減
- 人員増**…各消防本部からの出向により指令員増  
現状：松山6名、伊予2名、東温2名 ⇒ 共同運用：8名  
☆多数の指令員の配置により、大規模広域災害への対応が強化

### 【消防指令センター】

- 場所 松山市消防局 5階
- 運用開始予定日 令和6年4月1日

松山圏域消防指令センターの整備により、県内初、四国地方最大規模の共同指令センターとなり、消防防災力の連携協力体制が一層強化される。